

●第11回臨床解剖研究会のご案内

会 期：2007年7月7日（土）

会 場：富山全日空ホテル（〒930-0084 富山市大手町 2-3 電話 076-495-1111）

当番世話人：大 谷 修（富山大学教授・大学院医学薬学研究部解剖学）

プログラム：特別講演：(1)「失われた体の復元（仮題）」

光嶋 勲/東京大学形成外科学講座教授

(2)「腹腔鏡下手術と解剖学（仮題）」

伊熊健一郎/健保連大阪中央病院婦人科部長

教育講演：「外科的アプローチで損傷を受ける構造物（仮題）」

佐藤達夫/東京医科歯科大学名誉教授

一般演題：会員、非会員を問わず、臨床解剖に関する演題を公募します。

懇 親 会：研究会終了後、参加者全員による懇親会を開きます。

演 題 募 集：2007年2月1日（木）～2007年4月21日（土）必着

詳細はホームページでご確認ください。

問 合 せ 先：第11回臨床解剖研究会事務局

〒930-0194 富山市杉谷2630 富山大学大学院医学薬学研究部解剖学内

www.med.u-toyama.ac.jp/anat/jrsca07/home.html

email: jrsca07@med.u-toyama.ac.jp

* * *

●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 7 をお届けいたします。発行に当たってお世話になった方々に厚く御礼申しあげます。本号は、昨年6月に東京都にて行われた第10回臨床解剖研究会の記録です。当番世話人 衣袋健司先生と三井記念病院放射線科の皆様のご尽力により、多数の方々にご参加いただくことができました。あらためてこの場を借りて御礼申しあげます。

お陰様で本研究会も第10回という節目の研究集会を成功裡に行うことができました。今あらためてこの「記録」を読み返してみますと、いずれも興味深い読みごたえのある研究であり、解剖サイドに臨床からの期待に応えようとする意欲が、また臨床サイドでも解剖学的基盤を尊重するスタンスがともに十分感じられ、本邦における臨床解剖学も着実に根づいていることを実感します。今年は更に飛躍の年になればと念じております。

第11回研究会は上記お知らせのとおり、当番世話人 大谷 修先生により富山市で開催されます。演題募集も始まりますので奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

また、今年は第9回ヨーロッパ臨床解剖学会が9月5～8日に風光明媚なチェコのプラハで開催されます。本研究会からも多数ご参加いただければ幸いです（<http://www.eaca2007prague.cz/>、演題締切2007年1月31日）。

寒さ厳しき折、いっそうのご自愛をお祈り申しあげます。

（会長 佐藤達夫）

* * *

臨床解剖研究会記録 No. 7 2007年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社
